

一迫金田地区で4年に1度開催される「金田火伏せまつり」
にて、初めてのボランティア活動が行われました！

当事務所では、中山間地域等の農村集落の活性化を図ることを目的に、農作業のお手伝いをする「援農ボランティア」や都市と農村との交流を行う組織の実施体制づくりを支援しています。今回、平成29年度農山村集落体制づくり支援事業とNPO法人めぐりねっと21の調査事業の協力により、少子高齢化が進んでいる栗原市一迫金田地区で、4年に1度開催される『金田火伏せまつり』の山車づくりや山車引きのボランティアを募集しました。

当事務所はNPO法人めぐりねっと21と連携して、本まつり実行委員会と参加するボランティアとの調整役という立場でこの取組を支援しました。

(第1回目) まつりの準備ボランティア (3月25日)

平成30年3月25日(日)の『金田火伏せまつり』の山車や飾り付けの準備作業を行うボランティアを募集したところ、仙台市・栗原市・千葉県から大学生や社会人など17名の方にボランティアとして参加いただきました。

『金田火伏せまつり』で運行する山車はそれぞれの行政区で自ら製作するものであり、参加したボランティアは、当日5つの行政区に分かれて山車や飾り付けの作業を手伝いました。地元の金田地区では初めてのボランティアの受入れで、参加したボランティアも初めてのまつりの準備作業であることから、最初は戸惑いもあった様子でしたが、作業が進むにつれ和気あいあいとした雰囲気となりました。参加者からは「まるで地元の人になれたようで嬉しかった。また来たい」という感想をいただくことができました。

獅子舞づくり



飾り花づくり



山車づくり



うろこづくり



(第2回目) まつりの山車引きボランティア (4月8日)

平成30年4月8日(日)は4年に1度の『金田火伏せまつり』の本番です。山車引きを行うボランティアの募集に対して、仙台市・栗原市・千葉県から大学生や一般社会人など19名の方に参加いただき、その多くが前年に引き続きの参加者でした。

参加したボランティアは、前回同様それぞれの行政区に分かれて山車引きのお手伝いをしました。山車は地区に伝わる「川口囃子」に合わせて運行され、手踊り、獅子舞、神楽など地区の郷土芸能が一堂に集まり、町内を2時間程練り歩きます。道中では2箇所の酒蔵からのふるまい酒を味わうと共に沿道の桜や美しい水田景観を眺めることもでき、地域の方々とのおふれあいを感じながら、本まつりを満喫した様子でした。

山車引きの様子①



山車引きの様子②



町内練り歩き



手踊りの様子



【今後の予定】

今回、ボランティアとして参加いただいた皆様からはアンケートを記入していただき、その結果を踏まえ、受入を行った金田地区の皆さんと関係機関とで今回の反省点や今後の取組のあり方等について意見交換を行う予定です。

当事務所では、今後とも栗原管内における農村集落の活性化に向けて積極的に支援して参ります。